

旧社会資本総合整備計画（都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業） 事後評価シート

計画の名称	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業		
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）	交付対象	刈谷市
計画の目標	・危険度判定調査で改善が必要と判断された公園施設（遊戯施設、休養施設、修景施設等）を危険度の高い施設から計画的に順次更新することで、子どもや高齢者をはじめ誰もが安心して利用できる都市公園の整備を目指す。施設の更新が推進されることにより、利用者の持続的な安全確保が図られる。		

計画の成果目標（定量的指標）	・危険度調査により改善が必要と判断された78公園のうち、14公園の改築を実施する。 ・バリアフリー化の目標（園路広場）は、当初整備率63%を維持する。 ・バリアフリー化の目標（駐車場）は、当初整備率36%を40%に上昇させる。 ・バリアフリー化の目標（便所）は、当初整備率8%を10%に上昇させる。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21末)	中間目標値 (未設定)	最終目標値 (H25末)	
① 改築を実施する公園数	0公園		14公園	
② バリアフリー化の目標（園路広場）	63%		63%	
③ バリアフリー化の目標（駐車場）	36%		40%	
④ バリアフリー化の目標（便所）	8%		10%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	93百万円	A	93百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-------	---	-------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価 フォロワーアップ報告）の実施体制	事後評価 事業終了後
市内部で検証し、学識経験者に意見を求め評価を実施した。	公表の方法 刈谷市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
A-1	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	14公園の遊戯施設、休養施設、修景施設等の更新	刈谷市						93	計画
														92	実績
															計画
															実績
															計画
															実績
計画合計												93			
実績合計												92			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・危険度調査により改善が必要と判断された施設は、目標値の14公園で改築を実施し、利用者の安全性が確保された。

II 定量的指標の達成状況

指標①（危険度調査により改善が必要と判断された施設の更新（遊戯施設、休養施設、修景施設等））

最終目標値

14公園

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

14公園

指標②（バリアフリー化の目標（園路広場））

最終目標値

63%

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

63%

指標③（バリアフリー化の目標（駐車場））

最終目標値

40%

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

36%

・予定されていた駐車場の整備が実施されなかったため、現況値のままとなっている。

指標④（バリアフリー化の目標（便所））

最終目標値

10%

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

10%

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

・本計画においては、危険度の高い施設から順次更新を行っていたが、本市の公園は昭和40年代から50年代に多く、危険度が高い公園が益々増加していくことが想定される。そのような中で公園利用者の持続的な安全確保を図るためには、定期的に健全度判定を行い、施設ごとに補修及び更新する方針を記載した公園施設長寿命化計画を活用し、計画的に老朽化した公園施設や安全基準を満たさない遊戯施設等の改善等を進め、公園施設にかかるコストの低減、平準化を図っていく必要がある。